

心の原風景を求めて

麻田 浩 展

没後10年

ASADA Hiroshi Retrospective

初期から晩年に至る「麻田 浩—その人と作品」の
すべてを、はじめて公開

2007年7月31日(火) — 9月17日(月・祝)
京都国立近代美術館 [岡崎公園内]

開館時間：9時30分～17時(入館は16時30分まで)

毎週金曜日と8月16日(大文字・五山送り火)は夜間開館とし、9時30分～20時まで開館(入館は19時30分まで)

休館日：最終日を除く毎週月曜日

観覧料：一般 1200円(1000円/900円)、大学生 800円(600円/400円)、高校生 400円(300円/200円)

()内は前売り/団体料金、団体は20名以上 ※中学生以下、心身に障害のある方と付添者1名は無料

【前売り券発売所】チケットぴあ・ファミリーマート(Pコード:887-453)・ローソンチケット(Lコード:57722)ほか主要プレイガイドなど

主催：京都国立近代美術館、日本経済新聞社、テレビ大阪、京都新聞社

特別協賛：日本生命 協賛：日東電工、非破壊検査、京都銀行 協力：京阪電歌

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 電話 075-761-4111

テレホンサービス(展覧会のご案内)：電話 075-761-9900 ホームページ <http://www.momak.go.jp>

作品A(1965年)



赤い土の上の出来事'76(1976年)
京都国立近代美術館蔵



夢・家(1994~95年)

麻田 浩 展

没後
10年

ASADA Hiroshi Retrospective

当館は、これまで麻田 浩(1931-1997)の大作《地・洪水のあと》(1985-86)や、パリ滞在時に開催された個展の出品作《赤い土の上の出来事'76》(1976)など油彩の代表作に加え、銅版画作品14点を収蔵し、麻田の心象風景と称される独自の作風の形成について高い評価を与えてまいりました。ことし没後10年を迎えるにあたり、最初期の習作から未完の絶筆まで、その画業の全容を網羅した回顧展を企画して、はじめて足跡を紹介しながら、麻田芸術再考の場といたします。

麻田 浩は、日本画家・麻田辨自の次男として京都市に生まれました。兄も、日本画の道を歩んだ麻田鷹司で、麻田 浩は同志社大学経済学部在学中、当時の新制作協会の新鋭・桑田道夫に師事し、1954年23歳で同協会展に初入選を果たします。1963年、はじめての個展開催を機に31歳で画業に専念することを決意し、この年、父・兄とともにヨーロッパを旅しました。帰国後は、当館の「現代美術の動向 絵画と彫塑」展(1965年)にも、重厚なマチエールによるアンフォルメル作品を出品するなど、1950年代から60年代にいたる初期の時代には非具象表現を追求、さらには人体をモチーフとしたイメージによる絵画世界を模索してゆきます。1967年には京展で須田賞を受賞、翌年新制作協会会員となりました。

1971年、再度渡欧した麻田はパリにアトリエを構え、滞在は11年におよんで、この間、ヨーロッパの古典絵画から決定的な影響を受け、写実的技法を駆使しつつも、現代という時代に潜む不安感を示すかのような「原風景」「原都市」と題された一連の心象世界を開拓、同時に着手した銅版画とともに、国内外で高い評価を獲得しました。フランスをはじめ、ベルギーやドイツ、ニューヨークなどでも個展が開催されるほか、海外の展覧会での受賞歴も多く、帰国後はこうした顕著な活動が認められ、1983年には京都市立芸術大学教授となり、1995年に京都市並びに京都府の文化功労賞に選ばれ、第13回宮本三郎記念賞も受賞しました。けれども残念ながら、1997年京都市龍安寺のアトリエで、自ら命を絶ちました。

関連企画

■ 記念講演会

8月11日(土) 午後2時から3時
演題 「パリでの麻田 浩と私」
講師 粟津則雄氏(文芸評論家)

■ シンポジウム(詳しくは当館ホームページをご覧ください。)

9月17日(月・祝) 午後1時30分から5時
テーマ 「今、なぜ麻田 浩なのか」

講演
麻田 弦氏(麻田 浩長男)
「父を語る」
パネリスト

森本岩雄氏(京都市立芸術大学名誉教授)
岩城見一(京都国立近代美術館長)
山野英嗣(京都国立近代美術館主任研究員)

*いずれも会場は、京都国立近代美術館1階講演室。
聴講無料、定員100名、両日とも午前11時から
整理券を発行いたします。

心の原風景を求めて

初期から晩年に至る
「麻田 浩—その人と作品」の
すべてを、はじめて公開



御溝図(くに)(1990年)東京オペラシティアートギャラリー蔵



落下土風景(1970年)



鹿(ラ・タンタシオン)(1991~93年)



緑の地(1980年)



原都市(1983年)財団法人中興美術奨励基金蔵

観覧料	当日	前売	団体
一般	1,200	1,000	900
大学生	800	600	400
高校生	400	300	200

*中学生以下、心身に障害のある方と付添者1名は無料
(入館の際に証明できるものをご提示ください。)

【前売り券発売所】

チケットぴあ・ファミリーマート(Pコード:687-453)
ローソンチケット(Lコード:57722)ほか主要プレイガイドなど



●JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車
すぐ●JR・近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス100番(急行) 銀閣寺行「京都都会館美術館前」下車すぐ●阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ●阪急烏丸駅・河原町駅、京阪四条駅から市バス46番 平安神宮行「京都都会館美術館前」下車すぐ●市バス他系統「東山二条」または「京都都会館美術館前」下車徒歩約5分●地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約5分●お車でお越しの場合、岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1名1台)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。

京都国立近代美術館

[岡崎公園内]

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 電話 075-761-4111